

2024 年度 台湾研修

2025 年 3 月 17 日（月）～21 日（金）

2025 年 3 月 17 日（月）～21 日（金）の日程で、学生 14 名と引率教員 2 名が、台湾研修に参加しました。研修の主な内容は、中台科技大学での講義や実習、および台中榮民総医院の視察などです。その他、台湾の歴史や文化に触れる機会もたくさんあり、充実した研修となりました。

3 月 17 日（月）

研修初日、羽田空港から 8 時 40 分発のフライトで台湾に向けて出発。台湾の空港に 11 時 40 分に到着したあと、バスで、最初の訪問地である十分に向かいました。十分では、ランタンを空に飛ばすという体験を行いました。学生たちは、さまざまなお願い事をランタンに書いて、空に飛ばしていました。続いて、九份に移動しました。九份は、日本のアニメ『千と千尋の神隠し』の舞台のモデルになった場所といわれています。初日は、海外の環境に慣れるため、観光がメインのスケジュールになっていました。



3 月 18 日（火）

2 日目は、新幹線に乗って、中台科技大学がある台中駅に向かいました。台中駅では、中台科技大学の教職員の方たちが出迎えてくださいました。今回は、新型コロナウイルスによるパンデミックが収束してから、はじめての訪問ということで、更なる協力関係の発展を目指して、新たに学術協定を締結することになりました。新藤学長のサインが入った学術協定書を、国際交流研究センターの天野教授が中台科技大学に持参しました。



学術協定の締結セレモニーのあと、各学科での講義や実習に参加させていただきました。講義や実習を通じて、台湾の医療教育分野における技術革新について学ばせていただきました。また、新型コロナの影響によって途絶えていた学生同士の対面での交流が実現したことが、非常に感慨深かったです。



3月19日（水）

3日目は、中台科技大学の教職員および学生とバスで、台中荣民総医院に向かいました。台中荣民総医院では、AIを用いた最先端の医療や国際交流プログラムについての講義を聞きました。また、病院見学を通じて、日本と台湾の医療体制の違いについても学びました。



台中栄民総医院でのプログラムのあと、隣接する東海大学のキャンパスでランチを食べました。その後、台中国家歌劇院の建物を見学させていただきました。台中国家歌劇院の建物は、芸術作品としての評価が非常に高く、「世界9大新ランドマーク」にも選ばれています。



3月20日（木）

4日目は、終日自由行動の日です。学生たちは、それぞれ台湾での自由な時間を満喫していました。



3月21日（金）

最終日は、午前中、ゆっくり過ごした後、12時30分にホテルのロビーに集合して、バスで空港に向かいました。それから15時35分発の飛行機に搭乗して、19時25分に羽田空港に到着しました。

終わりに

本学と中台科技大学は、新型コロナによるパンデミックのあいだも、オンラインでの学生同士の交流会や教員による学会発表などで国際交流を続けてきました。今回の訪問は、パンデミック後、はじめての対面での交流ということで、非常に感慨深いものでした。研修内容も、中台科技大学での講義や実習、さらに病院視察など非常に充実していました。そして、なんと、今回の本学教員ならびに学生による中台科技大学訪問は、台湾版のYahoo!ニュースに掲載されました。



※この記事に掲載している写真の転載や複製などは禁止いたします。

日本医療科学大学
国際交流研究センター